

授業科目	在宅看護論 原論	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次後期	担当者	山本 淳子 織田 雅子 島田市保健師	
								職種	専任教員	
授業の 目標・ね らい	1. 在宅看護の概念、特徴について学ぶ 2. 在宅看護の歴史と現状について学ぶ 3. 保健医療福祉の連携と在宅看護の特徴について学ぶ。 4. 在宅看護の対象である療養者とその家族の特徴について理解する。 5. 在宅看護に関係する制度について学ぶ。									
授業内容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
		1	在宅看護論を学ぶ背景・在宅看護の位置づけ				講義	山本		
		2	在宅看護の特徴と対象者				DVD・講義	山本		
		3	在宅という場の特徴				講義	山本		
		4	在宅看護（訪問看護）活動の特徴				講義	山本		
		5	訪問看護の理念と機能・訪問看護の種類				講義	山本		
		6	療養者が有する権利・それに関連する制度・家族の捉え方				講義	山本		
		7	介護者の状況と課題・家族への看護				講義	山本		
		8	家族をとらえるための理論・高齢者の虐待を予防するための看護師の役割				講義	山本		
		9	多職種連携の必要性について				講義	山本		
		10	社会資源・在宅に関連する制度（事例を通して考える）				講義・グループワーク	山本		
		11	ALSの理解と生活状況を知る				講義	山本		
		12	社会資源について				講義	山本		
		13	地域包括ケアシステムについて				講義	市職員		
		14	地域での保健活動・地域で行われている各事業と地域で生活している人々の現状と課題				講義	保健師		
		15	退院支援				講義	織田雅子		
		16	試験					山本		
評価方法	筆記試験 45分間100点満点 6割以上で合格									
履修上の注意										
テキスト	地域療養を支えるケア在宅看護論 ナーシング・グラフィカ									
参考図書	国民衛生の動向 在宅看護論－ 医学書院									

授業科目	在宅看護論 方法Ⅰ	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次前期	担当者	山本 淳子 押尾 智子
								職種	専任教員
授業の 目標・ね らい	1. 在宅療養をしている対象の特徴を理解し、対象に合わせた看護の在り方について理解する。 2. 在宅での終末期の看護、看取りの状況を知る 3. 対象に合わせた日常生活援助技術を学ぶ。								
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	訪問看護の基本的なマナー 訪問看護師の姿勢・面接技術				講義	山本	
		2	訪問看護の基本的なマナー 訪問看護師の姿勢・ロールプレイ				講義	山本	
		3	難病を抱える療養者の在宅看護 難病法・家族の抱える問題・社会資源の活用				講義	山本	
		4	在宅におけるエンドオブライフケア①在宅での看取り				講義・DVD	山本	
		5	在宅におけるエンドオブライフケア②症状コントロール・家族への看護				講義	山本	
		6	在宅看護の応用技術・在宅での看護の実際・清潔・移動・演習計画				講義	山本	
		7	在宅看護の応用技術・在宅での看護の実際・清潔・移動の実際				演習	山本	
		8	在宅看護の応用技術・在宅での看護の実際・清潔・移動の実際				演習	山本	
		9	在宅看護の応用技術まとめ・内服への援助				講義	山本	
		10	老人患者の在宅療養と看護 生活自立困難者・寝たきりの方のアセスメントと看護				講義	押尾	
		11	老人患者の在宅療養と看護 移動・移乗に関する在宅看護技術 福祉用具				講義	押尾	
		12	老人患者の在宅療養と看護 食事・嚥下に関する在宅看護技術				講義	押尾	
		13	老人患者の在宅療養と看護 排泄に関する在宅看護技術 摘便・腹部マッサージの演習				講義・演習	押尾	
		14	在宅看護におけるリスクマネジメント				講義	押尾	
		15	精神疾患を抱える療養者への看護、小児療養者への訪問看護の特徴と現状				講義・DVD	押尾	
				試験					山本・押尾
単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験 45分間100点満点 6割以上で合格								
履修上の注意	演習は必ず参加すること								
テキスト	石田千絵ほか, ナーシンググラフィカ, 在宅看護論①, 地域療養を支えるケア, メディカ出版 石田千絵ほか, ナーシンググラフィカ, 在宅看護論②, 在宅療養を支える技術, メディカ出版								
参考図書	訪問看護と介護 よくわかる在宅看護 学研								

授業科目	在宅看護論 方法Ⅱ		単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	2年次	担当者	山本 淳子
									職種	専任教員
授業の 目標・ね らい	1. 在宅の特徴をふまえた看護過程について理解する。 2. 在宅での療養を支援する保健医療体制のネットワークを理解し、他職種との連携の必要性について学ぶ。 3. ケアマネジメントのあり方について学ぶ。 4. 地域で療養する人とその家族の看護に必要なアセスメントについて学ぶ。									
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
		1	ケアマネジメントと多職種の連携① ～ケアマネジメントとネットワークを考える～				講義	山本		
		2	ケアマネジメントと多職種の連携② ～ケアマネジメントとネットワークを考える～				講義・グループワーク	山本		
		3	ケアマネジメントと多職種の連携③ 多職種の役割を考える・社会資源の活用				講義・グループワーク	山本		
		4	在宅での看護過程の考え方とアセスメントの視点① ～事例検討～				講義・グループワーク	山本		
		5	在宅での看護過程の考え方とアセスメントの視点② ～事例検討～				演習	山本		
		6	在宅での看護過程の考え方とアセスメントの視点③ ～事例検討～				演習	山本		
		7	事例検討をしての学びの共有				講義	山本		
		8	試験					山本		
評価方法	筆記試験 45分間100点満点 6割以上で合格									
履修上の注意	4回目から7回目は演習を行います。グループで検討しながら準備を進めてください。必ず参加の講義になります。									
テキスト	石田千絵ほか、ナーシンググラフィカ、在宅看護論①、地域療養を支えるケア、メディカ出版 石田千絵ほか、ナーシンググラフィカ、在宅看護論②、在宅療養を支える技術、メディカ出版									
参考図書										

授業科目	在宅看護論 方法Ⅲ	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次後期	担当者	田井中正志 増田幸子 帝人(看護師) 理学・作業療法士 介護支援専門員(介 護士)
								職種	専任教員
授業の 目標・ね らい	1. 在宅での医療処置に関する基本的な知識について学ぶ。 2. 医療依存度の高い療養者・終末期を在宅で療養する方への安全・安楽な技術の提供方法について学ぶ。 3. 医療廃棄物の取り扱い、感染予防など在宅で医療処置をおこなう際の基本的注意事項について学ぶ。 4. 在宅でのリハビリテーション看護の提供について学ぶ。								
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題			方法		担当者	
	在宅での 医療機器と看護	1	在宅酸素療法			講義・演習		増田	
		2	気管切開、吸引の管理			講義・演習		増田	
		3	人工呼吸管理			講義・演習		増田	
		4	呼吸リハビリ			講義・演習		増田	
		5	経管栄養、胃ろう			講義・演習		増田	
		6	中心静脈栄養			講義・演習		増田	
		7	透析管理			講義・演習		増田	
		8	褥瘡管理			講義・演習		増田	
		9	感染管理			講義・演習		増田	
		10	在宅酸素・在宅人工呼吸管理			講義・演習		帝人看護師	
		11	訪問入浴			講義・演習		介護支援専門員	
		12	在宅リハビリの実際			講義・演習		理学療法士	
	エ レ ク シ ョ ン	13	コミュニケーションワーク			講義・演習		田井中	
		14	レクリエーションとは			講義・演習		田井中	
15		グループワークトレーニング			講義・演習		田井中		
		試験							
単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験 45分間100点満点 6割以上で合格								
履修上の注意									
テキスト	石田千絵ほか, ナーシンググラフィカ, 在宅看護論①, 地域療養を支えるケア, メディカ出版 石田千絵ほか, ナーシンググラフィカ, 在宅看護論②, 在宅療養を支える技術, メディカ出版								
参考図書	在宅看護技術マスターQ&A 学研 よくわかる在宅看護								

授業科目	看護管理と国際看護	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	看護部長 川島 初美
								職種	看護師
授業の目標・ねらい	<p>目的 安全で安楽な医療サービスを提供できるように、看護管理の重要性について理解する。</p> <p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> より良い看護を実践するための看護管理のあり方について学ぶ。 安全で安楽な医療サービスについて学ぶ。 ケア・看護サービスのマネジメントについて学ぶ。 看護を取り巻く諸制度について学ぶ。 国際社会において諸外国との協力を考がえることができる基礎的能力を養う 								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
	看護管理	1	看護のマネジメント 看護ケアのマネジメント				講義	看護部長	
		2	看護ケアのマネジメント				講義	看護部長	
		3	看護業務の実践 看護職のキャリアマネジメント				講義	看護部長	
		4	看護サービス・組織目標達成・人材のマネジメント 看護サービス提供の仕組みづくり				講義	看護部長	
		5	施設備品環境・物品・情報のマネジメント				講義	看護部長	
		6	マネジメントに必要な知識・技術				講義	看護部長	
		7	看護を取り巻く制度				講義	看護部長	
	国際看護	8	国際看護を学ぶのは				講義	川島	
		9	持続可能な開発目標				講義	川島	
		10	国際看護を学ぶにあたって関係ある機関				講義	川島	
		11	JICA、国際援助団体				講義	川島	
		12	看護の展開とNGO				講義	川島	
		13	異文化について				講義・演習	川島	
		14	国際情勢で学んだこと				講義・演習	川島	
	15	試験					川島		
単元ごとは順不同です。									
評価方法	学科試験、レポート								
履修上の注意	テキストは毎回使用するので準備しておくこと								
テキスト	系統 看護の統合と実践〔1〕 看護管理 (医学書院) 新体系 看護の統合と実践③ 国際看護学(メジカルフレンド社)								
参考図書									

授業科目	災害看護	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	3年次	担当者	湯沢 晃司 松岡 良太 小沼 由美 押尾 智子
								職種	認定看護師 医師 専任教員
授業の目標・ねらい	1. 災害の定義、社会制度について学ぶ。 2. 災害医療・看護についての基礎的知識を学ぶ。 3. 災害看護活動の実際を知る。 4. 地域における災害時の取り組みを知る。 5. 災害時に看護職に期待される役割と課題について学ぶ。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
	災害看護	1	災害の定義・サイクル・種類 DVD鑑賞				講義	湯沢	
		2	災害トリアージについて DVD鑑賞				講義	湯沢	
		3	災害トリアージ 広域医療搬送				講義	湯沢	
		4	トリアージタグの書き方 医療救護の実際 心の問題(医療者) DVD鑑賞				講義	湯沢	
		5	災害ボランティア 医療支援について DVD鑑賞				講義	湯沢	
		6	心の問題(医療者・救護者) DVD鑑賞				講義	湯沢	
		7	医療者の心の問題Ⅱ 東日本大震災の記録 DVD鑑賞				講義	湯沢	
		8	試験				講義	湯沢	
	災害医療	9	災害医療について				講義	松岡	
		10	災害医療の実際				講義	松岡	
	施設見学	11	浜岡原子力発電所見学 放射線医師・産業医による講義				見学	小沼・押尾	
		12	放射線医師・産業医による講義				講義	小沼・押尾	
	防災センター	13	県防災センター見学				見学	小沼・押尾	
	トリアージ	14	病院トリアージ訓練参加				演習	小沼・押尾	
	15	病院トリアージ訓練参加 まとめ				演習	小沼・押尾		
単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験、課題レポート								
履修上の注意	病院トリアージ訓練、県防災センター・浜岡原子力発電所見学は必ず参加すること								
テキスト	系看：看護の統合と実践〔3〕 災害看護学・国際看護学 （医学書院）								
参考図書									

授業科目	医療安全 I	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	3年前期	担当者	鈴木 久美子 松田 千子
								職種	認定看護師
授業の目標・ねらい	<p>看護医療における「安全」を理解するための基礎的知識を学ぶ。また、患者の安全をまもりための組織・個人の取り組みを知り、質の高い看護・医療を提供するために事故を予防する必要性を理解する。</p> <p>1. 医療安全の概念についての基礎的知識を学ぶ。 2. 看護師の責務としての「安全性の確保」について学ぶ。 3. 感染症と法的措置について学ぶ。 4. 患者の安全を守るために感染管理の実際を知る。</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
	感染	1	感染対策				講義	松田	
		2	感染看護				講義	松田	
	医療安全	3	組織的な安全管理体制への取り組み				講義	鈴木	
		4	医療暗線を学ぶことの大切さ				講義	鈴木	
		5	患者に投与する業務における事故防止				講義	鈴木	
		6	注射業務と事故防止				講義	鈴木	
		7	療養上の世話と事故防止				講義	鈴木	
		8	試験						
單元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看：看護の統合と実践〔2〕医療安全（医学書院）								
参考図書									

授業科目	医療安全Ⅱ	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	3年次	担当者	赤堀 夏海 増田 幸子他
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	<p>看護医療における「安全」を理解するための基礎的知識を学ぶ。また、患者の安全をまもるための組織・個人の取り組みを知り、質の高い看護・医療を提供するために事故を予防し、対象の個別性にあった看護技術提供の必要性を理解する。</p> <p>1. 看護技術提供の根底にある医療安全の重要性を理解し、危険予測した看護技術の実践方法を考えることができる。</p> <p>2. 既習知識をもとに看護に必要な知識・技術を統合し、科学的根拠に基づいた看護実践を考えることができる。</p> <p>3. 看護師として向上心・研究心を持ち主体的に学び続ける態度を身につけることができる。</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	オリエンテーション、課題の返却、講義・技術の確認				演習	増田	
		2	グループワーク				演習	増田	
		3	グループワーク				演習	増田	
		4	グループワーク				演習	増田	
		5	発表				演習	増田	
		6	発表				演習	増田	
		7	発表				演習	増田	
		8	医療安全について				講義	増田	
		9	グループワーク				演習	増田	
		10	グループワーク				演習	増田	
		11	グループワーク				演習	増田	
		12	発表				演習	全教員	
		13	発表				演習	全教員	
		14	発表				演習	全教員	
	15	振り返り				演習	増田		
評価方法	事前課題、ロールプレイ、演習への参加状況、ペーパーテストで総合的に評価								
履修上の注意	演習は各グループで協力して行って下さい								
テキスト	系看：看護の統合と実践[2]医療安全（医学書院）								
参考図書									